

三條市子ども・若者総合サポートシステム 令和4年度活動実績・令和5年度活動計画 【全 体】

※資料中の「小学校」という表記には義務教育学校前期課程（1～6年生）を、「中学校」という表記には義務教育学校後期課程（7～9年生）を含む。

《令和4年度活動実績》

1 子ども・若者総合サポートシステム 対象者の把握状況及び把握方法

(1) 把握件数

虐待、問題行動、障がい、ひきこもりがある子ども及びシステム登録希望者について、子育て支援課と小中一貫教育推進課で支援情報の一元化を図るため、情報システムによるデータベース化を行った。

＜子ども・若者総合サポートシステム把握件数（令和5年3月末現在）＞ 単位：人

区分	虐待	問題行動			障がい	ひきこもり (若者)	合計
		暴力	いじめ	不登校			
人数 (内システム 登録希望者数)	103 (一)	18 (一)	149 (一)	200 (5)	925 (40)	36 (36)	1,431 (81)

(2) 把握方法（参考）

虐待	通報者から子育て支援課への虐待通報	随時
暴力 いじめ	各学校から学校教育課への連絡	事案発生時
不登校	各学校から学校教育課への報告	毎月
	システム登録希望者	随時
障がい	学校教育課で把握している特別支援教育対象児童・生徒の名簿等	年度当初、随時
	子どもの育ちサポートセンターで把握している発達支援計画作成幼児の名簿等	随時
	システム登録希望者	随時
ひきこもり (若者)	システム登録希望者	随時

2 会議開催状況

会議名	回数	月日	場所	内容等	参加数
代表者会議	1回	6/8	三条市総合福祉センター	令和3年度活動実績・令和4年度活動計画の報告(全体、各部会、関係機関・組織)	30機関
実務者会議	虐待防止部会	5回		各部会活動実績参照 ※虐待防止部会はケース進行管理検討会議を含む ※問題行動対応部会は紙面での意見収集を実施	
	問題行動対応部会	2回			
	障がい支援部会	1回			
	若者支援部会	1回			
個別ケース検討会議	61回			各部会活動実績参照 ※回数は虐待防止部会分、障がい支援部会分及び若者支援部会分の合計	

3 周知活動

(1) 実務者への周知

周知方法等	対象実務者	実施月
ア 保育所(園)長会議	公立保育所長及び私立保育園長	4月
イ 小中学校の特別支援教育支援体制説明会	小中学校教頭、特別支援教育コーディネーター等	4月
ウ 小中学校の教職員研修会(5回)	小中学校の教職員	5月～8月
エ 小中学校校長会	小中学校校長	4月
オ 高等学校訪問(9校(市内5校、市外4校))	市内及び近隣高等学校の教職員	6月～9月

(2) 保護者への周知

周知方法等	対象者	実施月
ア 周知チラシの配布を各施設に依頼	保育所(園)、幼稚園、小中学校の保護者	7月
イ 小学校就学時健診時の家庭教育講座	小学校就学予定児童の保護者	10月
ウ 中学校入学説明会	中学校入学予定児童の保護者	1月～2月

4 視察対応及び講師派遣

(1) 視察対応：市町村5件

(宮城県名取市・宮崎県新富町・三重県津市・大分県日田市・長野県山ノ内町)

(2) 講師派遣：講演依頼等2件

(日本学校教育相談学会研修・本成寺地区民生委員児童委員協議会)

5 成果、課題等

成果	課題等
<p>令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた活動の中止や延期などを心配したが、活動が大きく停滞することなく実施することができた。</p> <p>また、各部会で実施する専門研修会等の開催を通じて、支援が必要な子ども達への関わり方などを学び、関係者における子どもや保護者に対する支援方法などの理解が深まっている。</p>	<p>サポートシステムを運用してから10年以上が経過し、様々な課題への対応方法やノウハウを蓄積してきた一方で、子ども・若者を取り巻く環境も複雑化・深刻化するなど大きく変わってきている。時勢に応じた関係機関との情報共有方法や支援方法など本システムの点検及び見直しが必要である。</p> <p>特に義務教育終了後の関係機関との連携方法や周知方法など、中学校卒業までと同様に支援が途切れないよう関係機関とどのように支援体制を構築し、また支援が必要な対象者をどのように把握するのかなど、しっかりと現状を把握した中で本システムの見直しを行う必要がある。</p>

《令和5年度活動計画》

1 会議開催予定

会議名	回数	月日	場所	内容等	参加予定数
代表者会議	1回	6/1	栄庁舎3階大会議室	令和4年度活動実績・令和5年度活動計画の報告(全体、各部会、関係機関・組織)	29機関(予定)
実務者会議	虐待防止部会	5回	各部会活動計画参照 ※虐待防止部会はケース進行管理検討会議を含む		
	問題行動対応部会	2回			
	障がい支援部会	1回			
	若者支援部会	1回			
個別ケース検討会議	随時		各部会活動計画参照		

2 周知活動

(1) 実務者への周知

周知方法等	対象実務者	実施月
ア 保育所(園)長会議	公立保育所長及び私立保育園長	4月
イ 小中学校の特別支援教育支援体制説明会	小中学校教頭、特別支援教育コーディネーター等	4月
ウ 学校保健説明会	小中学校養護教諭	4月

エ 小中学校の教職員研修会（４回）	小中学校の教職員	４月 ～１０月
オ 小中学校長会	小中学校校長	６月
カ 高等学校訪問	市内及び近隣高等学校教職員	６月 ～９月

(2) 保護者への周知

周知方法等	対象者	実施月
ア 周知チラシの配布を各施設に依頼	保育所（園）、幼稚園、認定こども園、小中学校の保護者	７月
	中学３年生の保護者（義務教育終了後の相談窓口の周知）	１０月
	中学３年生（進路未確定生徒）の保護者	３月
イ 中学校の入学説明会	中学校入学予定児童の保護者	１月～ ２月

三條市子ども・若者総合サポートシステム 令和4年度活動実績・令和5年度活動計画 【虐待防止部会】

《令和4年度活動実績》

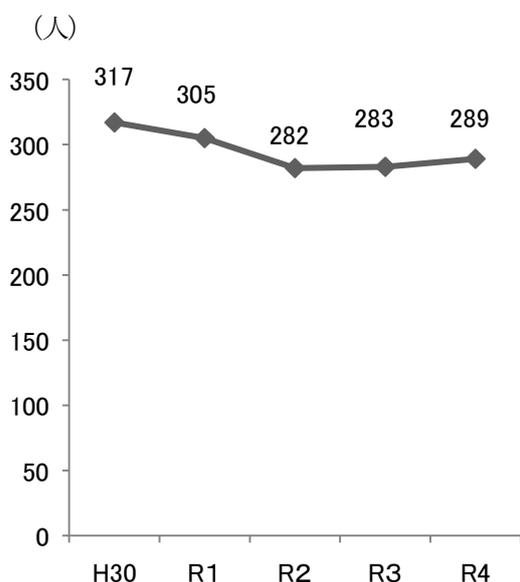
1 虐待防止部会 対象者の把握状況と対応

(1) 虐待管理件数（令和5年3月末現在）

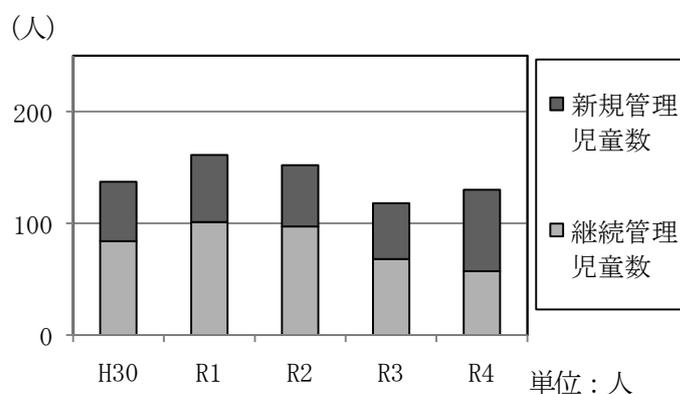
103人（うち特定妊婦5人）

(2) 子どもの虐待（疑い含む）に関する相談状況

ア 相談対応実人数の推移
（虐待管理児童含む）

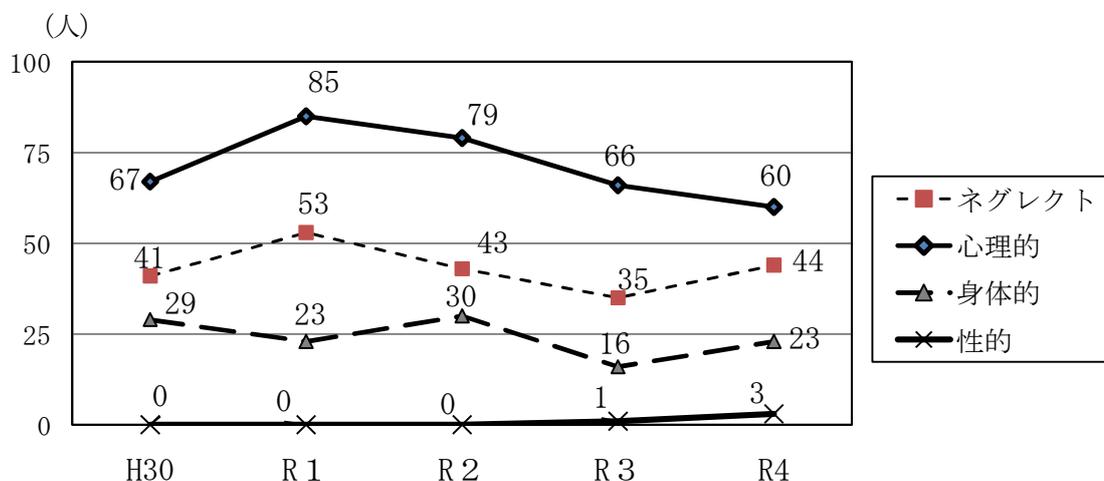


イ 虐待管理児童数の推移（年間）



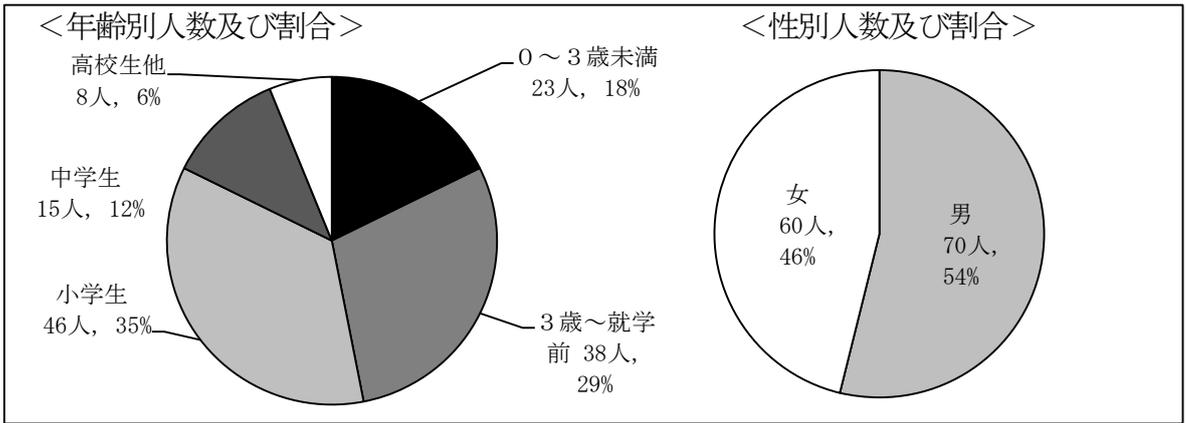
	H30	R1	R2	R3	R4
新規管理児童数	53	60	55	50	73
継続管理児童数	84	101	97	68	57
合計	137	161	152	118	130

ウ 種類別内訳の推移

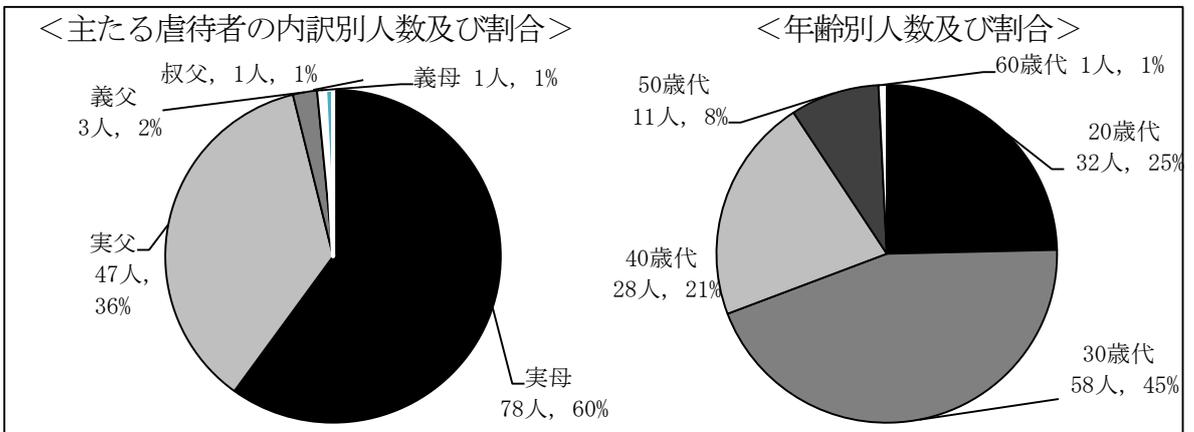


(3) 令和4年度 被虐待児及び虐待者の状況

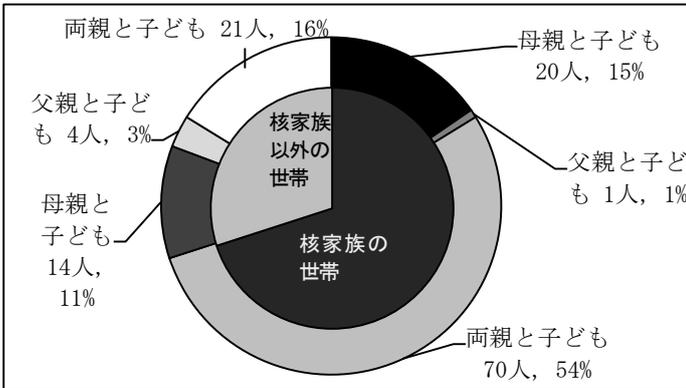
ア 被虐待児の状況



イ 虐待者の状況



ウ 家族構成の状況



エ 受付経路別

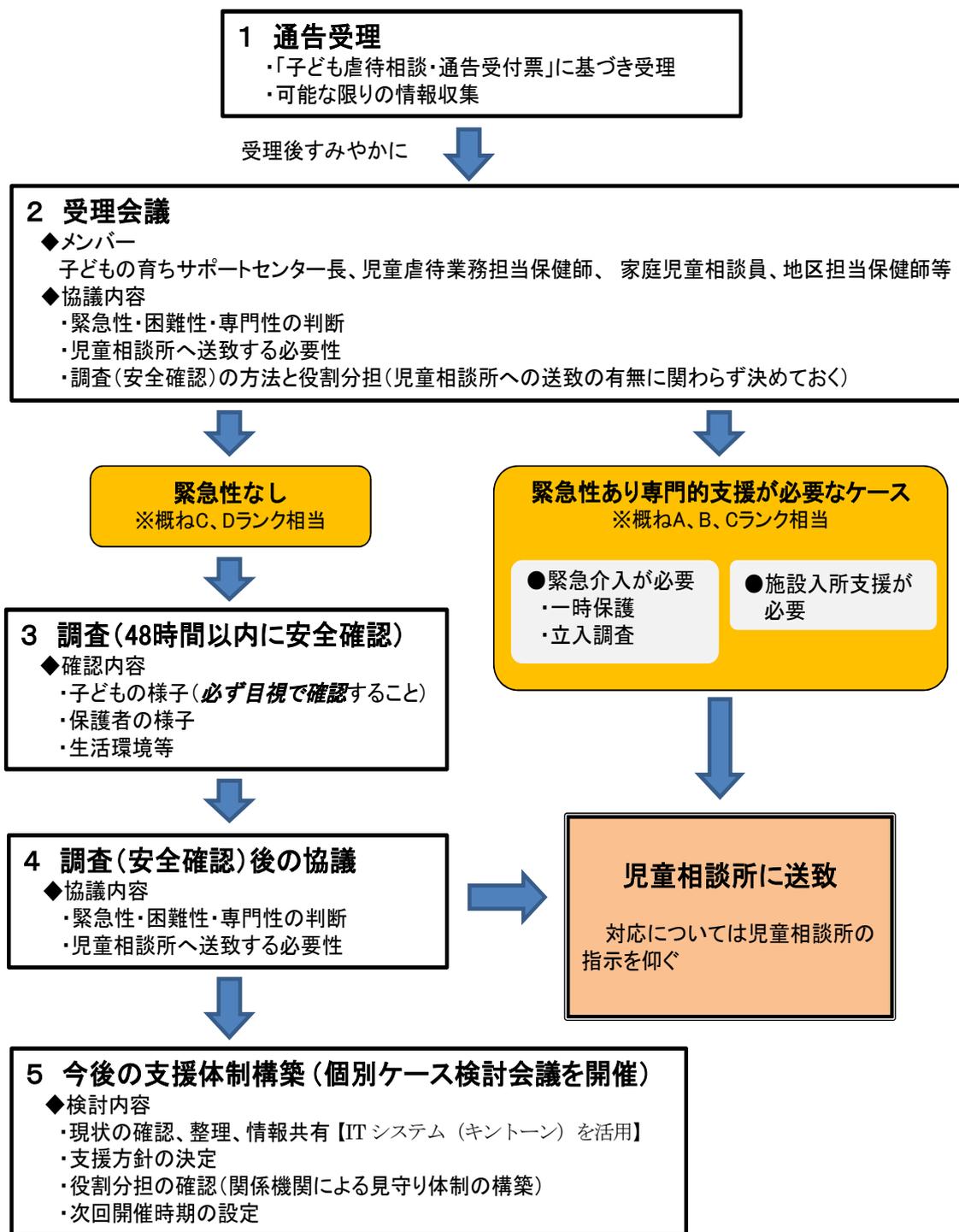
	家族親戚	近隣知人	保育所(園)・幼稚園	小・中学校	福祉事務所	児童相談所	警察	保健所	医療機関	その他	計
被相談者(人)	28	0	11	31	6	14	15	0	2	23	130
割合(%)	21.5	0	8.5	23.9	4.6	10.8	11.5	0	1.5	17.7	100

オ 一時保護人数（緊急の保護が必要な子どもを児童相談所が一時的に保護すること）

	H30	R1	R2	R3	R4
延人数(人)	21	21	7	8	19
実人数(人)	17	18	6	7	17

(4) 児童虐待通告受理後の対応

三条市児童虐待対応フローチャート



※三条市重症度判定区分

A(生命の危機) B(重度) C(中度) D(軽度) 要支援

参考資料: 市町村子ども虐待対応ガイドライン(新潟県)

2 虐待防止部会 会議開催状況

会議名	回	月 日	場 所	内 容 等	参加機関数
実務者会議	第1回	8月4日	三条市役所 栄庁舎	R3年度活動実績報告、R3年度活動計画、関係機関における課題の共有	16 機関
実務者会議 (ケース進行管理検討会議)	第1回	7月1日	三条市役所 栄庁舎	虐待管理児童等の情報共有及び重症度判定、支援方針の確認	9 機関
	第2回	9月26日			10 機関
	第3回	12月23日			9 機関
	第4回	2月28日			11 機関
個別ケース検討会議 (児童延人数)	51回 (91人)		随時	情報共有、支援体制の構築、支援の役割分担	

3 啓発活動

(1) 児童虐待防止推進月間における啓発活動の実施

- ア 市役所職員によるオレンジリボンの着用と窓口カウンターに卓上型のぼり旗を設置
- イ 国や県からのポスター、チラシなどを活用し市民に啓発
- ウ 広報紙や燕三条FM「インフォメーション」にて虐待防止を啓発

(2) 保育所（園）・学校等の実務担当者に対する児童虐待対応についての周知

4 研修会・講演会（YouTubeによるオンライン配信）

月 日	場 所	内 容 等	参加人数
配信期間 1月10日 ～ 1月31日	各所属機関	演 題：子ども虐待の早期発見、早期対応に関する基礎知識 講 師：新潟県中央児童相談所 企画指導課 小林 論 氏 対象者：虐待防止部会実務者、市内保育所(園)、幼稚園等職員、小中学校、義務教育学校職員、放課後等児童支援員、主任児童委員、行政関係者	再生回数 118回

5 その他の関係事業

(1) 子育て講座

ア 初めてのママ講座

回	実施時期	場 所	内容等	参加人数
第1回	5月～6月	あそぼって	子育ての悩みなどを参加者同士で話し合い、各自の子育てに役立てるとともに、仲間づくりにつなげる。	8人
第2回	7月			12人
第3回	9月			6人
第4回	11月			15人
第5回	1月～2月			3人
第6回	3月			10人
合計				54人

イ NP 講座 (Nobody's Perfect～完璧な親なんていない～)

回	実施時期	場 所	内容等	参加人数
第1回	5月～6月	三条市役所栄庁舎	参加者同士でお互いの悩みや関心のあることを話し合い、各自の子育てに役立てるとともに、仲間づくりにつなげる。	中止
第2回	7月～8月	三条市役所栄庁舎		7人
第3回	9月～10月	三条市役所栄庁舎		中止
第4回	11月～12月	あそぼって		中止
第5回	2月～3月	あそぼって		8人
合計				15人

(2) 乳児全戸訪問 (こんにちは赤ちゃん) 事業

事業名	実施時期	内容等	訪問人数
産婦・乳児訪問事業	通年	生後2か月以内に助産師が訪問し、乳児の身体測定、産婦の血圧測定、育児相談等を行う。	産婦 403人 乳児 417人
こんにちは赤ちゃん訪問事業		産婦・乳児訪問指導を希望しない保護者に対し、生後4か月以内に看護師等が訪問し、子育てに関する相談等を行う。	66人

(3) 養育支援訪問事業

実施時期	内容等	訪問人数
通年	支援が必要な妊婦及び養育者に助産師が訪問し、子育てに関する相談支援を行う。	8人

6 成果、課題等

成果	課題等
<p>児童虐待の重症度判定表に基づき、ケース進行管理検討会議を行うほか、随時、個別ケース検討会議を行い、各関係機関との連携を密にしながら、個別に応じた支援方針や支援者間の役割分担を明確化し、適切な支援につなげた。</p>	<p>保護者の育児能力の問題や子どもの問題行動、面前DVなど、処遇困難な事例が増えていることから、引き続き、子どもの所属機関や医療機関、警察、司法関係機関など、あらゆる関係機関との連携を密に行い、対応する必要がある。</p> <p>昨年度から市内の保育所(園)や小中学校と情報共有の迅速化などのために活用している情報連携システム(キントーン)の活用方法を再度検討し、関係所属機関と情報共有を行う以外にも、会議等への活用も進めて行く。</p>

《令和5年度活動計画》

1 会議開催予定

会議名	回	月	場 所	内 容 等
実務者会議	第1回	8月(予定)	三条市役所 栄庁舎	R4年度活動実績報告、R5年度活動計画、関係機関における課題の共有、その他勉強会等
実務者会議 (ケース進行管理検討会議)	第1回	6月30日	三条市役所 栄庁舎	虐待管理児童等の情報共有及び重症度判定、支援方針の確認
	第2回	9月29日		
	第3回	12月26日		
	第4回	2月27日		
個別ケース検討会議	随時			情報共有、支援体制の構築、支援の役割分担

2 啓発活動

- (1) 児童虐待防止推進月間における啓発活動の実施
 - ア 市役所職員によるオレンジリボンの着用と窓口カウンターに卓上型のぼり旗を設置
 - イ 国や県からのポスター、チラシなどを活用し市民に啓発
 - ウ 広報紙や燕三条FM「インフォメーション」にて虐待防止を啓発
- (2) 保育所(園)・学校等の代表者及び実務担当者に対する児童虐待対応についての周知

3 研修会・講演会

月 日	場 所	内 容 等	参加 予定人数
未定	未定	児童虐待の早期発見・対応から、その後の支援・見守りについての事例検討及び演習を通して資質の向上を図る。	未定

4 その他の関係事業

- (1) 子育て講座
 - ア 初めてのママ講座 全4回を6クール実施
 - イ NP講座(Nobody's Perfect～完璧な親なんていない～) 全6回を4クール実施
- (2) 乳児全戸訪問(こんにちは赤ちゃん)事業を実施
- (3) 養育支援訪問事業を実施

**三条市子ども・若者総合サポートシステム
令和4年度活動実績・令和5年度活動計画
【問題行動対応部会】**

《令和4年度活動実績》

1 問題行動対応部会 対象者の把握状況と対応

(1) 把握件数・人数（令和5年3月末現在）

ア 問題行動（暴力行為・いじめ） 167 件

イ 不登校児童生徒数 200 人 ※不登校は年間 30 日以上の欠席
「個人情報」の取扱いに関する同意書」提出件数 5 人

(2) 市内小中学校での問題行動・不登校の発生状況

ア 暴力行為等

単位：件

	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
対教師	2	2	1	5	3	0
生徒間	21	13	56	22	37	12
器物破損	7	7	11	6	0	6
合計	31	22	68	33	40	18

イ いじめ関係

単位：件

	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
小学校	48	51	105	85	79	106
中学校	41	42	142	78	44	43
合計	89	93	247	163	123	149

ウ 不登校関係

単位：人

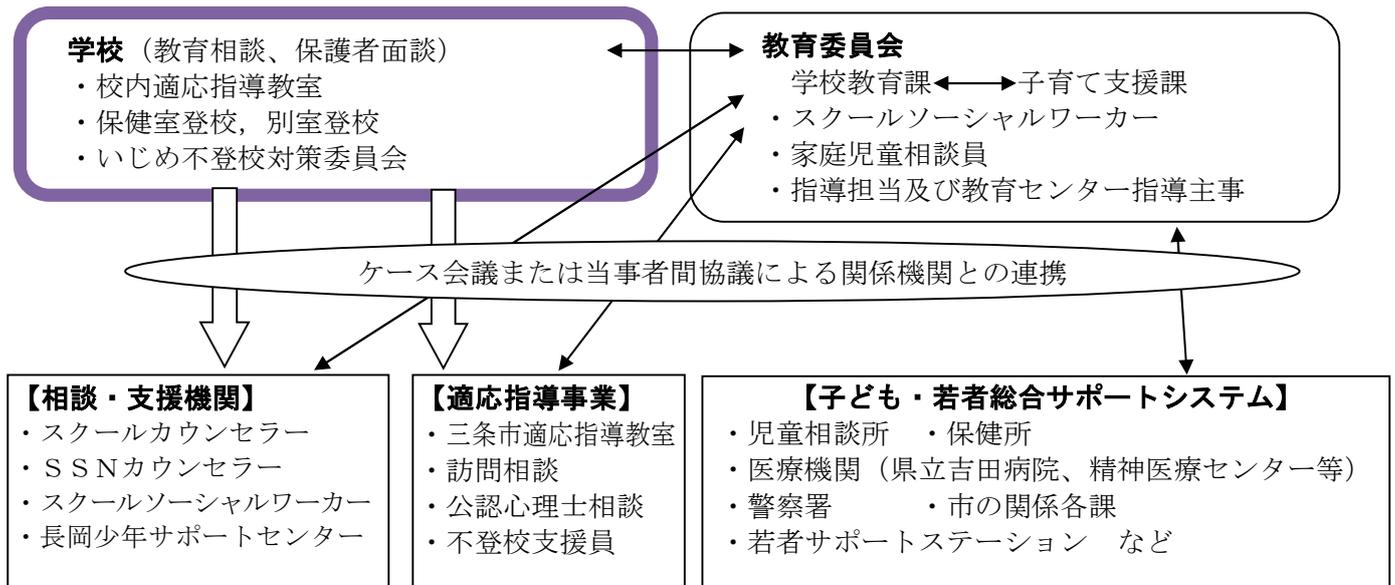
	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
小学校	27	35	28	39	55	69
中学校	78	82	81	90	100	131
合計	105	117	109	129	155	200

※(2)のア・イ・ウは文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」に基づく数値である。

※大崎学園については、前期課程は小学校、後期課程は中学校に記載

※R 5年4月末現在、三条市適応指導教室への通級児童生徒数 10 人（小 6 人、中 4 人）

(3) いじめ・不登校等への対応



【配慮事項】

- ・学校は児童生徒の日常の見取りや教育相談及び保護者面談を通して、状況を明確に把握し、教育委員会に報告する。
- ・教育委員会は学校の報告を受け、サポートシステムの活用や関係機関との連携が速やかに行われるよう支援する。また、教育委員会は個々のケースに見合う対応策について学校に指導する。
- ・対応が難しい場合は教育委員会がリードして関係者に連絡し、必要に応じてケース会議を開き、具体的な行動計画を策定する。
- ・意思決定は校長である。学校の意思決定が最良のものになるよう、教育委員会が支援し、総合サポートシステムの活用を含めた関係機関との連携や学校の教育活動の円滑化を図る。

2 問題行動対応部会 会議開催状況

会議名	回	月日	場所	内容等	参加機関数
実務者会議	第1回	9月5日	栄庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度活動実績と令和4年度活動計画 ・いじめの現状と対応について ・いじめ防止啓発リーフレットについて 	13
	第2回	3月9日	栄庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校の現状と支援の方策 	12
個別ケース検討会議等	担当指導主事が学校へ出向き、指導・助言を行った。また、関係機関とともに個別ケース検討会議を開催した。令和4年度、問題の対応にあたった内容として多かったのは、暴力・いじめの事案、不登校・不適應の問題、家庭内トラブルだった。 毎月1回、三条市適応指導教室で適応指導事業担当者会議を開催し、情報共有を行った。				

3 研修会・講演会

月 日	場 所	内 容	参加人数
5月9日	三条市役所 栄庁舎	<u>三条市生徒指導研修会・適応指導事業説明会</u> ・三条市適応指導教室の事業概要の説明 ・「トラブル発生時の学校組織対応の在り方」 講師 中越教育事務所 佐藤典人氏	29人
	—	<u>学校・警察等連絡協議会、生徒指導連絡協議会</u> ・全学校と警察役員が情報交換、今日的課題の解決に向けて各部会で協議 (対象者:管理職、生徒指導主事、生活指導主任)	中止
① 5月25日 ② 8月3日	三条市役所 栄庁舎	<u>Q-U研修会</u> ①学級経営の理論とQ-Uの分析の仕方について学ぶ ②Q-Uのデータを活用した人間関係づくりの方法の実際について学ぶ ～エンカウンター、ソーシャルスキルトレーニング～ (講師 新潟大学教職大学院准教授 田村和弘氏)	① 23人 ② 23人
① 7月5日 ② 8月4日	三条市役所 栄庁舎	<u>不登校児童生徒への対応力向上研修</u> ・不登校の予防や初期対応のあり方について、事例検討を通じて研修 (講師 三条市教育委員会SSW 葛綿 愛)	① 30人 ② 12人

4 成果、課題等

成 果	課 題 等
<p>触法行為などの非行事案は減少し、学校運営が滞るような悪質かつ継続する問題行動は見られない。いじめ認知件数は、いじめの積極的認知の姿勢の継続で、昨年度より増加した。そのうち、令和4年度は71%が解消し、29%が解消に向けて取組継続中である(うち3か月を超えて取組継続は8%)。</p> <p>不登校(年間30日以上)の欠席児童生徒数は、昨年度と比較して45名増加した。全欠の児童生徒は7名で前年度より3名増加した。新型コロナウイルス感染症により、生活リズムを崩したり、友人との関わり方に悩んだり等の影響も考えられる。不登校の要因が複雑化してきているが、学校が家庭や関係機関と連携したり、SSWを積極的に活用したりしながらチームとして取り組み、適切な対応を行えるように支援できた。</p>	<p>感染症の状況が落ち着き始め、関わり合う場面が増えてきたこともあり、いじめの認知件数は増加している。また、SNSのトラブルなど学校では認知ができない事案があることも考えられる。そのため、SNS教育プログラムを活用したトラブルの未然防止対策を確実に進める必要がある。そして、些細な事案でもいじめを決して許さない、見逃さないことを共通認識としていく。</p> <p>不登校の原因は、生活習慣の乱れや無気力、家庭内の問題などが多い。不登校未然防止のためには、社会性の育成が重要である。教育活動全体を通してその育成を図る取組を推進していく。</p>

《令和5年度活動計画》

1 会議開催予定

会議名	回	月日	場所	内容等
実務者会議	第1回	9月	三条市役所	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止啓発リーフレットの検討 いじめや不登校の現状と対策の協議
	第2回	1月	栄庁舎	
個別ケース 検討会議	<ul style="list-style-type: none"> 問題行動の状況により、随時、関係機関を含めたケース検討会議 毎月1回、三条市適応指導教室で通級生のケース検討会議 			

2 啓発活動

- (1) 校長会・教頭会、生徒指導に関わる学校訪問等において、通知に基づいた生徒指導の充実及び事故防止の徹底について指導する。
- (2) 市内外での事案発生時に、随時、再発未然防止に向けた通知をメール配信する。また、学校現場の巡回・巡視を適宜行う。
- (3) いじめ防止啓発リーフレットを作成し、学校を通じて各家庭に配布する。

3 研修会・講演会

題名	月日	場所	内容	参加 予定人数
生徒指導 研修会	5月9日	三条市役 所栄庁舎	<ul style="list-style-type: none"> 「させる」から「支える」生徒指導へ ～いじめ対応と不登校支援～ (講師 中越教育事務所 原田 一 氏 中越教育事務所 長谷川成生 氏) 三条市適応指導教室の事業概要、子ども若者総合 サポートシステムの事業概要の説明 	29人
学校・警察 連絡協議会	6月23日	三条東 公民館	<ul style="list-style-type: none"> 三条警察署から管内の交通事故や少年補導状況の 資料を提供いただき、情報交換をする。 	29人
WEBQU研修会	①5月24日 ②8月上旬	①オンライン ②三条市役所 栄庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ① WEBQU研修 (実施・活用方法について) (学校教育課指導主事・センター指導主事) ② WEBQU研修 (人間関係づくり研修) (講師 未定) 	①34人 ②29人
自殺予防 研修会	8月～9月 予定	動画配信	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの自傷行為への対応 (講師 上越教育大学大学院講師 大宮宗一郎氏) 	150人
保護者 研修会	6月予定	オンライ ン・動画 配信	<ul style="list-style-type: none"> ゲーム障害の理解と対応 (講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 特任助教授 吉永 清宏 氏) 	150人
不登校研修 会	①7月6日 ②8月4日	三条市役 所栄庁舎	<ul style="list-style-type: none"> 家族理解を基に、不登校の予防や初期対応、児童 生徒に合わせた対応、保護者対応、関係機関との コーディネートについて研修 (講師 三条市教育委員会SSW 葛綿 愛) 	①25人 ②25人

三条市子ども・若者総合サポートシステム
令和4年度活動実績・令和5年度活動計画
【障がい支援部会】

《令和4年度活動実績》

1 障がい支援部会 対象者の把握状況と対応

(1) 把握人数（令和5年3月末現在）

925人（再：就学後 708人 就学前 217人）

(2) 「個人情報の取扱いに関する同意書」提出人数

40人

(参考1) 令和4年度特別支援学級に在籍する児童生徒数及び学級数

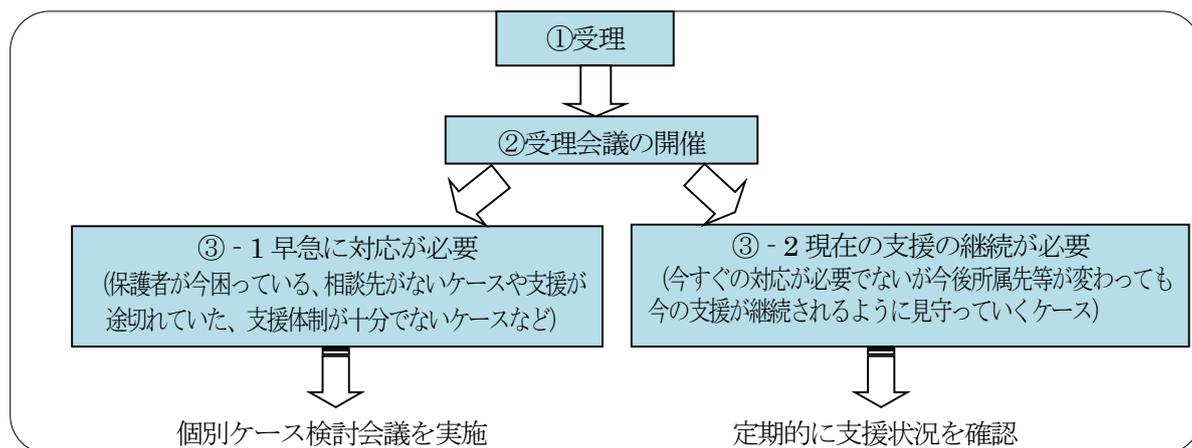
学級種別	小学校		中学校		計	
	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数
知的障害学級	29	139	12	58	41	197
自閉・情緒障害学級	43	236	11	57	54	293
その他（肢体不自由・病虚弱・難聴）	6	6	1	1	7	7
合 計	78	381	24	116	102	497

※小学校には義務教育学校前期課程が、中学校には義務教育学校後期課程がそれぞれ含まれる。

(参考2) 令和4年度通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒数

問題項目	市内小学		市内中学		計		国の平均
	人	%	人	%	人	%	
学習面か行動面で著しい困難を示す	377	9.4	65	3.0	442	7.2	8.8
学習面で著しい困難を示す	227	5.7	28	1.3	255	4.2	6.5
行動面で著しい困難を示す	240	6.0	56	2.6	296	4.8	4.7
学習面と行動面ともに著しい困難を示す	90	2.2	19	0.9	109	1.8	2.3

(3) 「個人情報の取扱いに関する同意書」受理後の対応



※同意が無い「障がい」把握者への支援

乳幼児の場合 → 保健師や保育所（園）、幼稚園の保育士等の支援

小中学生の場合 → 学校での通常支援及び、通級指導教室や市が委嘱した特別支援学校職員による巡回支援等

2 障がい支援部会 会議開催状況

会議名	回	月 日	場 所	内 容 等	参加機関数
実務者会議	第1回	9月6日	三条市役所 栄 庁 舎	障がい支援に向けて、切れ目のない支援への取組に関する報告	17機関
個別ケース 検討会議 (児童実人数)	10回 (8人)	随時		情報共有、支援体制の構築、支援の役割分担	

3 研修会・講演会

題名	月 日	場 所	内 容 等	参加人数
発達応援 講演会	12月5日 ～ 12月27日	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、動画配信形式で実施	演 題：「発達障害へのかかわり～困った行動を、できる行動へ～」 講 師：新潟大学 教職大学院 教授 長澤 正樹 氏 対象者：市民	658回 ※配信再生回数
発達応援 セミナー	7月25日 ～ 8月26日	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、動画配信形式で実施	演 題：インクルーシブ教育システムの構築に向けて～一人一人の子ども笑顔と活躍のために～ 講 師：独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センター上席総括研究員(兼) センター長 笹森 洋樹 氏 対象者：小・中・特別支援学校教職員 幼稚園・保育所(園)職員	304人

専 門 研 修 会	2月7日	三条市役所 栄庁舎	講 義：「問題行動への対応」～子どもの行動を観察し、対話によってこれからのことを考える行動コンサルテーション～ 講 師：新潟大学 教職大学院 教授 長澤 正樹 氏 対象者：障がい支援部会構成機関・組織等	25人
--------------	------	--------------	--	-----

4 成果、課題等

成果	課題等
<ul style="list-style-type: none"> ・発達応援講演会では、市民が発達障がいの理解と対応、特別支援教育の最新情報等を知ることができた。 ・発達応援セミナーでは、インクルーシブ教育システムの構築のために必要な基本的な知識や対応について分かりやすく具体的に説明していただき、関係職員一人一人が日頃の対応の仕方について考えるよい機会になった。 ・専門研修会では、障がいなど支援を必要とするお子さんを持つ保護者への支援について、具体事例を用いて学ぶことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ教育システムの構築のために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた指導、支援のあり方を関係者が研修し、特別支援教育に関する専門性を高める必要がある。 ・特別な配慮を要する児童生徒の困り感を的確に把握し、自立活動の視点をもちながら、よさを伸ばす指導、支援のあり方を検討する必要がある。 ・就労までの切れ目のない一貫した支援体制を構築していくために、特別な配慮を要する生徒に対し、義務教育後の支援と課題について整理し、対応を協議していく必要がある。高等学校等卒業後においては、就労やひきこもり支援に確実につなげていくために、若者支援部会と更に連携を深めていく。

《令和5年度活動計画》

1 会議開催予定

会議名	回	月	場 所	内 容 等
実務者会議	第1回	未定	三条市役所 栄庁舎	発達障がい支援体制について（仮）
個別ケース 検討会議	随時			支援体制の検討が必要なケースについて関係者 で検討を行う。

2 周知活動

(1) 実務者への周知

ア 市内保育所等と小中学校等の実務者を対象に、子ども・若者総合サポートシステムの運用及びすまいるファイル活用について周知

周知方法等	対象者	実施月
保育所（園）長会議	公立保育所長及び私立保育園長	5月
特別支援教育支援体制説明会	教頭・特別支援教育コーディネーター	4月
生徒指導研修・適応指導教室事業説明会	生徒指導担当等	5月
関係機関との連携研修	市内教職員	8月

イ 市内や近隣高等学校に対し、子ども・若者総合サポートシステムの運用及びすまいるファイル活用について周知

市内高等学校	近隣高等学校等	実施月
三条高等学校・三条東高等学校・三条商業高等学校・県央工業高等学校・松陰高等学校（燕三条校）	創進学園高等学校・見附高等学校・加茂高等学校ほか	6～9月

(2) 保護者への周知

ア 市内の保育所等、小中学校等に所属する子どもの保護者に対し、子ども・若者総合サポートシステムについて周知

イ 障害福祉サービスの利用や保育所等での発達支援または学校での特別支援教育を受けている子どもの保護者へすまいるファイルの活用の周知

3 研修会・講演会

題名	月 日	場 所	内 容 等	参加 予定人数
発達応援 講演会	未定	未定	発達障がいの理解と対応について（仮） 対象者：市民	100人
発達応援 セミナー	7月25日 ～ 8月26日	※動画配信 形式で実施	演 題：発達障害のある子どもの理解と支援 講 師：国立成育医療研究センター 小枝 達也 氏 対象者：小・中・特別支援学校教職員 幼稚園・保育所（園）職員	200人
専門研修会	未定	未定	障がい児支援に関するテーマ 対象者：実務者等	50人

**三条市子ども・若者総合サポートシステム
令和4年度活動実績・令和5年度活動計画
【若者支援部会】**

《令和4年度活動実績》

1 若者支援部会 対象者の把握状況と対応

(1) 把握人数（令和5年3月末現在）

36人

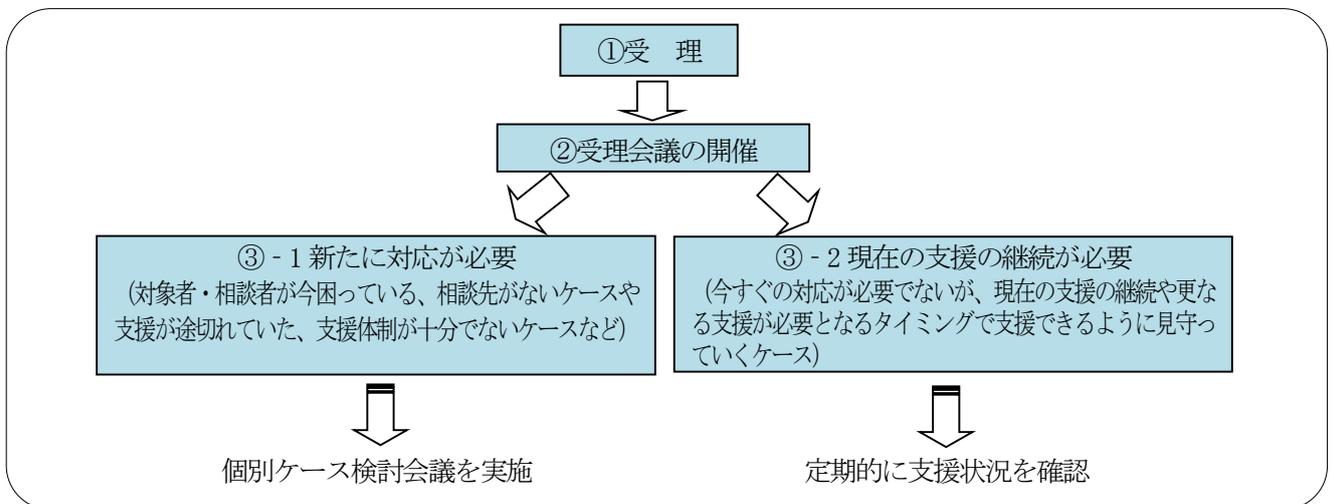
＜年齢別の把握人数＞

年齢	人数（人）
15歳～19歳	12
20歳～24歳	19
25歳～29歳	5

(2) 「個人情報の取扱いに関する同意書」提出人数

36人

(3) 「個人情報の取扱いに関する同意書」受理後の対応



2 若者支援部会 会議開催状況

会議名	回	月日	場所	内容等	参加機関数
実務者会議	第1回	10月17日	三条市 中央公民館	R3年度活動実績、R4年度 活動計画 現状と課題について	16機関

個別ケース 検討会議	—	随 時	情報共有、支援体制の構築、 支援の役割分担
---------------	---	-----	--------------------------

3 周知活動

- (1) 市内中学校3年生及び義務教育学校9年生の保護者に対する総合サポートシステム、青少年相談の周知（保護者懇談会、年度末進路未確定の生徒・補助者への個別周知）
- (2) 市内高等学校に総合サポートシステム、青少年相談を周知（学校訪問時）

4 研修会・講演会

子ども・若者支援に関わる青少年相談業務関係者等の資質向上を図るため、研修会を開催した。

研修会名	回	月 日	場 所	内 容	参加 人数
実務者等 研修会	第1回	11月14日	教育セ ンター	テーマ：ひきこもり・発達障害を 抱える人たちとの途切 れない支援～青年期か ら成人期へのひとたち とのかかわり～ 講 師：上越教育大学 特任教授 加藤 哲文 氏	39人

5 成果、課題等

成果	課題等
<ul style="list-style-type: none"> ・実務者等研修会では、各機関の支援者の質問を基に、事例を交えながら、問題解決の糸口をお話いただいた。また、事例検討をグループワーク形式で行い、各機関の役割や連携の重要性について再認識することができ、今後の支援を行っていくうえで、有意義な研修会となった。 ・三条ものづくり学校内にある若者サポートステーションと連携し、相談体制の強化及び情報共有を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育終了後の高等学校等の中退などを起因とした、若年層のひきこもりなどを早期に解消するためにも、引き続き、高校訪問などを通じて本システムや青少年相談について、保護者、子ども、高等学校等の関係者へ更なる周知を図る必要がある。 ・若者サポートステーション、関係機関及び他部会と連携し、相談者の発掘や問題解決につながる体制を充実していく必要がある。 ・ひきこもり対象者の就労支援や、その前段となる通いの場、居場所の確保など、関連する他事業も含め、対象者・利用者の掘り起しを図る。

《令和5年度活動計画》

1 会議開催予定

会議名	月	場 所	内 容 等
実務者 会 議	9～10月	青少年育成 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・R4年度活動実績、R5年度活動計画及び関係機関との情報共有 ・若者支援体制について意見交換会
個別ケース 検討会議	随 時		<ul style="list-style-type: none"> ・ケースの情報共有及び進行管理 ・既存登録者の現状把握、今後の支援方針及び役割分担等の明確化 ・他部会との連携、情報共有

2 周知活動

- (1) 市内中学校3年生及び義務教育学校9年生の保護者に対する総合サポートシステム、青少年相談の周知（保護者懇談会、年度末進路未確定の生徒・補助者への個別周知）
- (2) 市内及び近隣高等学校に総合サポートシステム、青少年相談を周知（学校訪問時）

3 研修会、講演会

会議名	月	場 所	内 容 等	参加予 定人数
実務者等 研修会	10～11 月	青少年育成 センター	若者支援（不登校、ひきこもり）に関するテーマ	25人